

# 金澤北ロータリークラブ



1994年3月24日

第508号

例会日：木曜日 12:30～13:30  
 例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭  
 TEL<0762>52-2271 FAX52-2273  
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所  
 TEL<0762>22-2525 FAX24-2882  
 会長：飯野 健志 幹事：渡邊 聡  
 情報委員長：広岡 治樹 会員84名

## 「中国経済改革開放政策の実行の前後の変化」

崔 萱 氏



私は西安、つまり唐の都、長安から来ました。中国では、1979年に、鄧小平により、経済改革開放政策が進められ、国内に大きな変化が occurred しました。

政治は社会主義のまま、経済政策だけは、資本主義でやろうと言う政策であり、上海、北京、深圳等の沿海地域では、外国資本に、さまざまな優遇処置を行ない、外国資本が投下され、多くの合併企業がつくられ、これらの地域では、まさに爆発的な経済発展をとげました。

昨年の2月に一時帰国しましたが、その時を利用して、上海、マカオ、深圳に旅行に行きました。

特に深圳では都心に入ると、新宿の副都心の様な、高層ビル群がたちならび非常に驚きました。経済発展の結果、新しい貴族、大金持ちが出現しました。何十万元戸、何百万元戸と言われる人々です。

先日、日本テレビで、それらの子弟による、日本への修学旅行の様子が放映されましたが、彼達の一人分の旅行費用は、中国人の平均年収の数倍ですらありました。

中国は沿海地域、中部地域、内陸地域と大きく3つに別けられます。インフレや教育レベルの格差等もあり、外国資本は主に沿海地域にのみ進出して、他の地域との経済格差が大きく広がって来ています。

経済改革開放政策の初期には、中国の人口12億余りの8割は農民で、この農民の生活の安定なくして、中国の安定なしと言うことから政府の資金の多くが農村につきこまれ、農民の生活もかなり豊かになったものですが、現在の政府の資金の多くは、都会の建築ブーム、株ブーム、不動産ブームの為に、これらの面に投入されています。都会はまさにバブル経済ではないかと思われるくらい経済が爆発状態です。

都会の中でも、外国との合併企業の恩恵をうけている人と、そうでない人との間にも大きな経済格差を生んでいます。

中国における個人企業とは、レストランや洋服の仕立て屋と言った小規模な、第3次産業に限られています。現在でも中国では個人財産の所有は、法律的に認められていません。ただ単に政策により認められているだけです。明日政策が変更になれば、すべてが水泡に帰す場合もあります。もちろん土地はすべて国有地ですから、銀行が個人企業に担保をとって資金を貸しつけて個人企業が大きく発展すると言う様な金融システムはありません。

特に都会では開発による環境破壊の問題や、中国四千年の風俗習慣もこれらの政策のより少しずつ変化している様に思います。又中国人の心の中でも、ゆったりとして、大河の流れるがごとく、時間を過ごすと言う感覚も失われつつある様に思います。

農村部では都会との経済格差により暴動すらおこっている地域もあります。今後の課題として、いかに農村を豊かに安定させるかであります。 —金沢北RC例会講話より— (文責 炭谷亮一)

## 第4回友禅箔押し教室

社会奉仕委員長 松田 忠秋  
職業奉仕委員長 山本 幸雄

3月13日森山公民館に於いて、館長上田忠信様のお世話により校下の小学生、父兄、北クラブ会員を交え、各自の作品作りに、歓喜の声を上げ、日曜の午前のひと時を過ごしました。北ロータリーならではのスタッフでの行事が行えて、出席者は楽しい勉強が出来たことと思います。

なお講師を御願いしました二塚長生さん、箔座の皆様、奥田染色様には心より感謝申し上げます。

森山校下小学生	29名	会員出席者名	
"    "    父兄	6名	吉崎 二塚 山岸	
講師 箔座	3名	魚住 坂下 奥田	
"    友禅	1名	佐藤 松田 本江	
友禅受講者	19名	山本 越野 小杉(守)	
箔押し受講者	20名	吉岡 小林	
		本江婦人	
		広沢正美	



英治

**理事會報告**

3月10日(木) 出席者15名

◆金沢7RC合同幹事會報告

- ①災害義援金取扱の件  
本部から郵送される「救報」に基づいてガバナ  
ーが判断を下す。義援金に協力するかどうかは  
各クラブの自由意志
- ②第50回記念現代美術展後援の件  
昨年通り、50,000円とする。
- ③次年度石川第一分区代理の件  
中山博会員(香林坊RC)に決定
- ④次年度IMホストの件  
金沢香林坊RC

◆各委員會報告

- 社会奉仕 3/13 友禅、箔押し教室  
3/24 職場訪問例会  
4/3 球技大会
- 青少年奉仕 ライラ 4/15~17  
黒部青少年の家

- 国際奉仕 交換学生修学旅行の件  
海外の為、今回は不参加。それにか  
わる旅行を計画出来るかどうか(ク  
ラブとして)
- 広 報 卓話の予告を会報にのせてはどうか。  
決定している範囲でのせる。

◆その他

- 休會会員の件  
要覧の細則等は、理解しにくい表現が多い。企  
画委員會で一度見直す必要があるのではないかと  
思う。
- 20周年記念事業のふるさと偉人館への大場先生  
の書の寄贈の中間報告。
- 地区會合への新会員の出席が悪い。幹事からの  
直接のプッシュが必要。

**23 月例会出席状況**

出席率 98.81%

會員名	月 日	3/3	3/10	3/17	3/24	3月	會員名	月 日	3/3	3/10	3/17	3/24	3月
浅田 男	3/3	○	M	M	○	◎	橋村 浩	3/3	○	M	○	M	◎
野宅 弘	3/10	M	M	○	M	◎	大澤 精	3/10	M	M	○	M	◎
安宅 雅	3/17	M	○	M	M	◎	岡田 久	3/17	○	○	M	○	◎
大江 重	3/24	M	M	M	M	◎	岡田 太	3/24	○	○	M	○	◎
藤守 巧	3月	M	○	M	○	◎	岡田 進	3月	○	○	○	○	◎
藤川 博	3/3	M	○	M	○	◎	乙坂 幸	3/3	○	○	○	○	◎
二合 長	3/10	M	○	M	○	◎	坂口 直	3/10	M	○	○	○	◎
橋本 昌	3/17	○	M	M	M	◎	坂井 太	3/17	M	○	○	○	◎
長谷川 和	3/24	○	M	M	M	◎	佐藤 健	3/24	○	M	○	○	◎
畠山 勝	3月	○	○	M	M	◎	沢田 哲	3月	○	○	○	○	◎
畠山 昭	3/3	M	休	○	○	×	沢田 忠	3/3	M	○	○	○	◎
川本 彦	3/10	○	○	○	○	◎	清田 次	3/10	M	○	○	○	◎
川谷 治	3/17	○	○	○	○	◎	塩田 透	3/17	○	○	○	○	◎
川谷 昭	3/24	○	○	○	○	◎	高木 丸	3/24	○	○	○	○	◎
他 美	3月	○	○	○	○	◎	岡 三	3月	○	○	○	○	◎
里 健	3/3	○	○	○	○	◎	野 明	3/3	○	○	○	○	◎
舟 幹	3/10	○	○	○	○	◎	倉 弘	3/10	○	○	○	○	◎
木村 洋	3/17	○	○	○	○	◎	野 智	3/17	○	○	○	○	◎
小島 伊	3/24	○	○	○	○	◎	木 仁	3/24	○	○	○	○	◎
木下 丹	3月	○	○	○	○	◎	小 隆	3月	○	○	○	○	◎
小野 和	3/3	○	○	○	○	◎	野 尚	3/3	○	○	○	○	◎
小野 敏	3/10	○	○	○	○	◎	野 好	3/10	○	○	○	○	◎
越野 善	3/17	○	○	○	○	◎	野 男	3/17	○	○	○	○	◎
小野 善	3/24	○	○	○	○	◎	野 男	3/24	○	○	○	○	◎
小野 善	3月	○	○	○	○	◎	野 男	3月	○	○	○	○	◎
增柳 信	3/3	○	○	○	○	◎	野 男	3/3	○	○	○	○	◎
松江 忠	3/10	○	○	○	○	◎	野 男	3/10	○	○	○	○	◎
森田 範	3/17	○	○	○	○	◎	野 男	3/17	○	○	○	○	◎
本三 千	3/24	○	○	○	○	◎	野 男	3/24	○	○	○	○	◎
中原 俊	3月	○	○	○	○	◎	野 男	3月	○	○	○	○	◎
中村 三	3/3	○	○	○	○	◎	野 男	3/3	○	○	○	○	◎
中谷 三	3/10	○	○	○	○	◎	野 男	3/10	○	○	○	○	◎
大谷 三	3/17	○	○	○	○	◎	野 男	3/17	○	○	○	○	◎
大谷 三	3/24	○	○	○	○	◎	野 男	3/24	○	○	○	○	◎
大谷 三	3月	○	○	○	○	◎	野 男	3月	○	○	○	○	◎

